

令和3年度 浜松市子ども・若者支援推進会議 次第

日時：令和4年1月24日(月)

庁議終了後

場所：本館5階 庁議室

1 開会

2 第2期 浜松市子ども・若者支援プランの点検・評価について（令和2年度事業）

3 閉会

【配付資料】

・（概要版）第2期 浜松市子ども・若者支援プランの点検・評価について（令和2年度事業）

・ 資料 第2期 浜松市子ども・若者支援プランの点検・評価について（令和2年度事業）

【今後の予定】

令和4年●月●日（●） 正副議長、正副委員長説明

令和4年2月7日（月） 厚生保健委員会（協議会）

令和4年2月8日（火） 浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会

浜松市子ども・若者支援推進会議 委員名簿

区分	職名
会長	市長
副会長	副市長 (こども家庭部に属する事務を分担する副市長)
委員	副市長 教育長 政策補佐官 企画調整部長 総務部長 財務部長 市民部長 健康福祉部長 こども家庭部長 産業部長 都市整備部長 土木部長 デジタル・スマートシティ推進事業本部長 学校教育部長 健康福祉部医療担当部長

事務局は、こども家庭部次世代育成課に置く。

概要版

第2期 浜松市子ども・若者支援プランの
点検・評価について（令和2年度事業）

第2期 浜松市子ども・若者支援プランの点検・評価について（令和2年度事業）

1 点検・評価の主旨

プラン（計画年度：令和2～6年度）における子ども・子育て支援施策の令和2年度事業実施状況について、国の指針に基づき点検・評価する。

（「子育て・少子化に関するアンケート調査結果」が計画全体の成果（アウトカム）を計る指標。）

2 成果（アウトカム）指標の結果（アンケート調査結果より：グラフ1）

子育て中の市民が「子育てがしやすくなっている」と感じる人の割合は、37.5%（対前年比 ▲9.5ポイント）となった。

グラフ1 「子育てがしやすくなっている」と感じる子育て中の市民の割合（%）

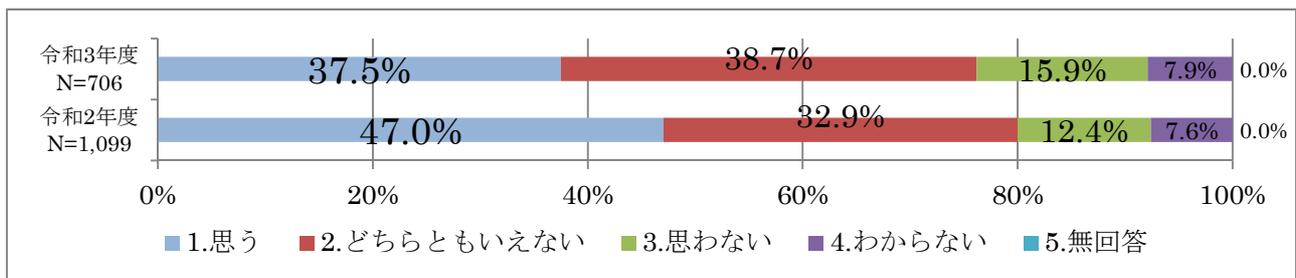


表1 「どのような環境を整えば子育てがしやすくなると感じるか」（対前年比）

順位	R03		R02		対前年	
	項目	割合	順位	割合	順位	ポイント差
1	児童手当などの経済的支援が充実した環境	38.1%	1	19.6%	—	+18.5
2	子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境	14.3%	2	13.7%	—	+ 0.6
3	保育園などへ入園希望者がすべて受け入れられる環境	10.7%	3	13.6%	—	▲ 2.9
4	子育ての悩みを相談できる人が身近にいる環境	9.5%	8	3.6%	↑	+ 5.9
5	困った時や緊急時に、安心して子供を預けられる環境	9.1%	4	13.1%	↓	▲ 4.0

3 考察及び課題

アンケート調査の結果を受け、次の5つを課題として整理した。

(1)	児童手当などの経済的支援が充実した環境の整備
(2)	子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境の整備
(3)	保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境の整備 (保育所、放課後児童会)
(4)	子育ての悩みを相談できる環境の整備
(5)	困ったときや緊急時の預け先の整備

4 課題への対応

(1) 「児童手当などの経済的支援が充実した環境の整備」

現状	「児童手当などの経済的支援が充実した環境」は38.1%で前年より18.5ポイント上昇し第1位だった。
分析	<ul style="list-style-type: none">令和元年度の国民生活基礎調査（グラフ3）では、「生活が苦しい」と感じている世帯の割合は、全世帯の54.4%に対し、子育て世帯では60.4%と6.0ポイント高く、更に母子世帯では87.0%と32.6ポイント高くなっている。母子世帯は前年比では6.3ポイント上昇し、9割近くが「生活が苦しい」と感じている。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会状況は大きく変化しており、さらに厳しい経済状況となっている。
対応	子育て世帯への経済的負担の軽減や、生活困窮世帯への学習支援など子供の貧困対策の推進に引き続き取り組んでいく。

(2) 「子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境の整備」

現状	「勤務先や職場の理解・協力が得られる環境の整備」は14.3%で前年より0.6ポイント上昇し第2位だった。
分析	<ul style="list-style-type: none">令和2年度の雇用均等基本調査では、男性の育児休業取得率は12.65%で、前年より5.17ポイント上昇した。（グラフ4）令和2年度の労働力調査では、15歳から64歳までの女性の就業率は70.6%で、平成26年度と比較すると、7.0ポイント上昇している。（グラフ5）男性の育児休業の取得率が飛躍的に向上し、女性の就業率に上昇傾向が見られる。育児・介護休業法の改正や働き方改革等により、職場の環境改善や意識改革が進んだことが、女性の就業率を向上の理由のひとつであると推察される。
対応	勤務先や職場の理解・協力を得るため、引き続き事業所に対する育児休業制度等の周知・啓発等に取り組んでいく。

(3) 「保育園などへ入園希望者がすべて受け入れられる環境の整備」

現状	「保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境の整備」が 10.7% で前年より 2.9 ポイント減少して第 3 位だった。
分析	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備、定員拡大等の待機児童解消に向けた取り組みにより、保育所等の待機児童はゼロを達成し、放課後児童会は 343 人で前年より 152 人減少している。 ・一方で保育所等及び放課後児童会ともに利用児童数（登録児童数）は増加傾向であり、利用ニーズは増している。（グラフ 6、グラフ 7）
対応	今後も計画的な施設整備、定員の拡大等の受け皿確保を推進していくとともに、保育や放課後児童会運営に必要な人材の確保などに努めていく。

(4) 「子育ての悩みを相談できる環境の整備」

現状	「子育ての悩みを相談できる環境の整備」が 9.5% で前年より 5.9 ポイント上昇して第 4 位だった。
分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外出や人と会うことを控えるような状況であったことが相談できる環境の整備を望む理由のひとつであると分析している。 ・令和 3 年度の子育て・少子化に関するアンケート調査（グラフ 8）では、子育ての悩みを相談できる環境として「SNS やチャット等が 44.1%、オンラインでの相談が 30.3%、電話での相談が 29.2%」と非対面の相談がしやすいと感じている人の割合が多くなっている。
対応	対面による相談体制に加え、SNS やチャットボットを活用した子育てに関する情報提供の充実及び、保育所等への入所に関するコールセンターを設置し、電話やビデオ通話によるオンライン相談体制を整備していく。

(5) 「困った時や緊急時の預け先の整備」

現状	「困った時や緊急時に安心して子供を預けられる環境」が 9.1% で前年より 4.0 ポイント減少して第 5 位だった。
分析	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等での一時預かり事業の延べ利用者数を平成 30 年度と令和 2 年度で比較すると、保育所等が 22,420 人から 13,400 人に、子育て短期支援事業が 381 人から 364 人に、ファミリー・サポート・センターが 8,357 人から 5,495 人に減少している。（グラフ 9） ・新型コロナウイルス感染症への感染不安や、在宅勤務やリモートワークの浸透により家庭保育が可能となったこと及び、保育所等の施設整備によって、保育所等に入所できる児童が増えたことが、ニーズ減少の要因と推察される。
対応	今後も保育所の一時預かり等、安心して子供を預けることができる環境を整備するとともに、様々な預かり先の確保に努めていく。

5 個別事業の進捗状況

第2期 浜松市子ども・若者支援プランにより取り組む基本政策別個別事業（全154事業）の進捗状況（アウトプット）は、次のとおり。

進捗が「遅れている」事業については、引き続き計画値の達成に努めていく。

基本政策1 子ども・子育て支援（111事業）

ア 重点的に 取り組む事業 (15事業)	(7) 就学前における 教育・保育の提供 (2事業)	認定こども園、保育所、幼稚園	計画通り
		地域型保育事業	進んでいる
	(4) 地域の子ども・子育て支援 (13事業)	利用者支援事業 放課後児童健全育成事業など	計画通り又は 進んでいる
		病児保育事業	やや遅れている※
イ その他事業 (子ども・子育て支援法に定めがない事業等・96事業)	子育て情報センター管理運営事業、不妊治療費等支援事業など（88事業）		計画通り
	浜松こども館・青少年の家・天竜自然体験センター運営事業（3事業）		遅れている (コロナの影響によるもの)
	妊娠期健康講座事業・母子相談事業・食育推進事業・思春期性教育事業（4事業）		
	浜松市幼稚園PTA連絡協議会活動助成事業（1事業）		

※「病児保育事業」は、コロナの影響による利用者の減少及び看護師や保育士の確保が困難な状況であるため、事業の進捗がやや遅れている。

【令和2年度計画値(定員:7,200人) 令和2年度実績値(定員:6,240人 [86.7%])】

基本政策2 ひとり親家庭等自立促進（24事業）

・高等職業訓練促進給付金等事業など24事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 計画通り

基本政策3 若者支援（19事業）

・地域若者サポートステーションはままつ事業など19事業・・・・・・・・ 計画通り

6 質の確保に向けた取り組み

- ・令和2年度の保育教諭、幼稚園教諭、保育士等の資質や専門性の向上のための研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部未開催となったが、重大事故防止や発達支援に関する研修会を実施し、各施設における教育・保育の充実を図った。
- ・認定こども園、幼稚園、保育所等での浜松市幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」教職員用指導資料の活用や園内研修の実施を促し、令和2年度は96.3%※の施設が園内研修を実施した。

※「第3次浜松市教育総合計画（後期計画）」及び「第2期浜松市子ども・若者支援プラン」に係る令和2年度実施状況の調査による。調査対象371施設中275施設が回答。

7 第2期プランの見直し事項（令和4年度に向けて）

基本政策1 子ども・子育て支援 ア 重点的に取り組む事業 (イ) 地域の子ども・子育て支援

<p>(1) 【見直し】</p>	<p>利用者支援事業 【幼児教育・保育課】</p>	<p>令和4年4月から保育関連相談コールセンター機能を設置することに伴い、各区役所に配置していた保育サービス相談員を本庁に集約する。 これにあわせて事業類型について、これまでの待機児童対策に特化した「特定型利用者支援事業」から、多様化する子育て支援に対応するための「基本型利用者支援事業」に見直す。</p>
----------------------	--------------------------------------	---

基本政策1 子ども・子育て支援 イ その他事業

<p>(1) 【新規】</p>	<p>ふじのくに出会い 応援事業 【次世代育成課】</p>	<p>県主導の「ふじのくに出会い応援事業」における協議会に参加し、協議会が運営委託を行う「ふじのくに出会いサポートセンター」を通じて、結婚を希望する市民に対してマッチングシステムによる結婚支援を行う。</p>
<p>(2) 【新規】</p>	<p>結婚新生活支援事業 【次世代育成課】</p>	<p>婚姻に伴い新生活をスタートさせる世帯を対象に、新生活のスタートアップにかかる費用の支援を行う。</p>
<p>(3) 【新規】</p>	<p>子育て世帯に対する フードパントリー 緊急支援事業 【子育て支援課】</p>	<p>食料品や生活用品等の生活支援を実施することにより、新型コロナウイルス等により困窮するひとり親家庭などの子育て世帯に対する支援を行う。</p>
<p>(4) 【新規】</p>	<p>子どもの居場所 づくり助成事業 【子育て支援課】</p>	<p>子ども食堂等子どもの居場所を提供するNPO法人等に対し、子どもの居場所づくり等の立ち上げや運営にかかる費用の補助を行うもの。</p>
<p>(5) 【新規】</p>	<p>ヤングケアラー支 援体制強化事業 【子育て支援課・ 次世代育成課】</p>	<p>ヤングケアラーの支援体制を強化するため、関係機関職員の研修を実施する。</p>
<p>(6) 【見直し】</p>	<p>浜松まちなか定住 促進補助事業 【住宅課】</p>	<p>子育てのための都市機能が充実している居住誘導区域内に転居する世帯を支援する。特に親世帯と同居・近居する子育て世帯を厚く支援する。 ※市街化区域内において、多世帯同居するために移転する世帯を支援する「浜松市家族支えあい環境支援補助金」の廃止し、新たに新設</p>